

12月1日は世界エイズデーです。今年のキャンペーンテーマは・・・ 「知ってる? HIVとエイズの違い」




世界エイズデーは世界レベルでのエイズの広がりを防止し、患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に定めたものです。現在、治療法の進歩により、ウイルス感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、ウイルスに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。



また、治療の継続により他人への感染リスクが低下することも確認されています。そういった中で、このキャンペーンテーマは一人でも多くの方がHIV/エイズを自分のこととして考え、「HIVとエイズの違い」をはじめ、検査や治療、支援などHIV/エイズに関する知識を身につけるための契機とすべく、掲げたものです。

エイズについて

エイズ(後天性免疫不全症候群)は病気の名称で、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)はエイズの原因となるウイルスの名称です。HIVに感染すると、病気への抵抗力が弱くなり、健康な人であれば病気にならない菌やウイルスに感染しやすくなってしまいます。この状態が一定の基準を超えたときに、エイズを発症したと言います。エイズにならないためには、HIVに感染しないことが大切です。主な感染ルートを知り、感染を予防しましょう。

主なHIV感染ルート		
性行為	血液感染	母子感染
性行為による感染は最も多い感染経路です。 性行為時は、正しいコンドームの使用が、HIV感染症/エイズ予防にとって有効な手段です。 	HIVが存在する血液の輸血や、注射器具の共用などによって感染します。 	母親がHIVに感染している場合、妊娠中、出産時、授乳を通じて感染する可能性があります。 

▶問い合わせ先=健康福祉課 成人健康係 ☎569133

●HIV検査のご案内について

HIV感染は検査でしか分かりません。HIVの感染を心配されている方は、まず検査を受けてみましょう。検査は次の場所で行っています。無料・匿名で検査を受けることができますが、令和2年7月から予約制(先着10名)となっています。12月の検査の予定です。

- ▶日時=12月2日(水)、23日(水) 午後1時~午後2時
- ▶場所=栃木県県南健康福祉センター(小山市犬塚3-1-1)
- ▶内容=HIV等性感染症検査及び相談※

※感染の可能性があってから、12週間以上経過している必要があります。
 ※土日祝日を除く、午前8時30分~午後5時15分の間にお問い合わせください。

▶問い合わせ先=栃木県県南健康福祉センター ☎0285(22)1219

上三川町開局1周年

コミュニティチャネル 101ch

これからも地域のイベントや
防災情報を積極的に発信していきます!

LIFEチャンネル(112ch)に
田川(川中子橋)の
河川カメラ設置!
防災にお役立てください!

料金・サービスに関するお問い合わせに関しては **CATV 栃木ケーブルテレビ** ☎0120-25-1819

かみたん LINE スタンプ

~好評配信中!~

日常で使いやすいボクたんのスタンプが配信されているよ!スタンプをいっぱい使って会話を楽しもう♪ かみたんより

DLはコチラから!

※ダウンロードには、50コイン(120円相当)が必要となります。
 ▼問い合わせ先=企画課 情報広報係 ☎56-9117

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、施設の臨時休館又は、イベントを中止することがありますのでご理解願います。

消費生活センターにご相談ください

消費豆知識 89

衣服に火がついた！着衣着火の事故

事例1 お湯を沸かそうとコンロにやかんをかけた後、先に調理していた隣のコンロの火が服に着火し炎が上がった。夫がすぐ気づきタオルで火を消したが、溶けた繊維でやけどをした。

事例2 仏壇の花の水を取りかえようとしたら、ろうそくの火がそでに燃え移った。すぐに上着を脱いだのだが火が消えず背中の方まで燃え広がった。上半身にやけどを負った。

事例3 首にスカーフを巻いたまま、コンロに火をつけたら、垂れ下がったスカーフに着火した。

着ている服に火がつくことを着衣着火といいますが、不意に炎が広がると冷静な対応が困難になることもあり、特に高齢者では被害の程度が重くなる傾向があります。

・そでやすが広がっているデザインの衣類やスカーフ、ストールなどは、火を使う際は身に着けないようにしましょう。

・コンロやろうそくの火が衣服に燃え移ると大変危険です。身近な火気の取り扱いには十分に注意し、火に近づきすぎないように気をつけてください。コンロや仏壇の奥のものを取る時は、必ず火を消してから行いましょう。

・もし、衣服に火がついてしまったら、脱ぐ、たたく、水をかけるなどしてすぐに消火しましょう。

・調理の際は、万一火が接しても着火しにくい、防災のエプロンやアームカバーを利用するとよいでしょう。

▼相談日時 月々金曜日(祝日・年末年始を除く)

午前9時～正午、午後1時～4時

▼相談場所 上三川町消費生活センター(役場1階 地域生活課内)

▼相談専用電話番号 ☎(56)9153

消費者ホットライン180でもつながります。

かみのかわ平成史 第11回 平成11年(1999)

今号は平成11(1999)年、20世紀最後の年の出来事を取り上げます。この年、日本では世界が滅亡するというノストラダムスの大予言が大変話題となりました。このほか、「コンピュータ2000年問題」や地域振興券の配布、茨城県東海村での原子力事故の発生といった出来事がありました。

町の出来事では、磯川緑地公園入口の吊り橋の完成、中央公民館でキャスターの池上彰さんの講演会開催、NHK「小さな旅」の撮影等がありました。9月には、昭和46年の事業立案から28年かけて行われてきた並木山王土地区画整理事業が完了しました。並木山王地区は、日産自動車栃木工場の南側にある市街地です。事業の完了に伴い、区域内にある「大字上郷・上三川・上蒲生」の一部地名が変更となり、新たに「しらさぎ」という地名が生まれました。

さて、この「しらさぎ」という地名は皆さんご存じのとおり、町の鳥が白鷺であることに由来しています。白鷺は町域の水田に多く見られる鳥であり、古来より町と深い繋がりがあります。そのひとつをご紹介します。康暦2(1380)年、小山城主小山義政の軍勢が上三川城に侵攻してきた折、明神の森から多くの白鷺が飛び立ちました。小山勢はこれを上三川勢の旗の旗と思ひ、森に伏兵がいると見誤り、戦わずして撤退しました。以来、その神徳を讃えて明神の森にある社を白鷺神社と呼ぶようになったと伝えられています。

白鷺神社の神紋が白鷺をモチーフとしているように、町のいたるところで白鷺の姿を目にすることが出来ます。町の鳥として、ふるさとの原風景として、昔から人々に愛されてきた白鷺を探して町を歩いてみるのも良いかもしれませんね。



磯川でたわむれるしらさぎ

▼問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習係 ☎(56)9159